

グローバル経済コア

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第6期(決算日 2023年8月21日)
(作成対象期間 2022年8月23日～2023年8月21日)

当期末

基準価額	13,500円
純資産総額	12,110百万円
騰落率	4.4%
分配金合計	0円

(注1)以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2)騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

SMTAM投信関連情報サービス



お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。

※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。当ファンドは、日本を含む世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)、債券、及び不動産投資信託証券(REIT)、並びに金現物市場の代表的指数への連動を目指す上場投資信託証券(以下「金」といいます。)に実質的に分散投資(株式37.5%、債券37.5%、REIT10.0%、金15.0%)しました。ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

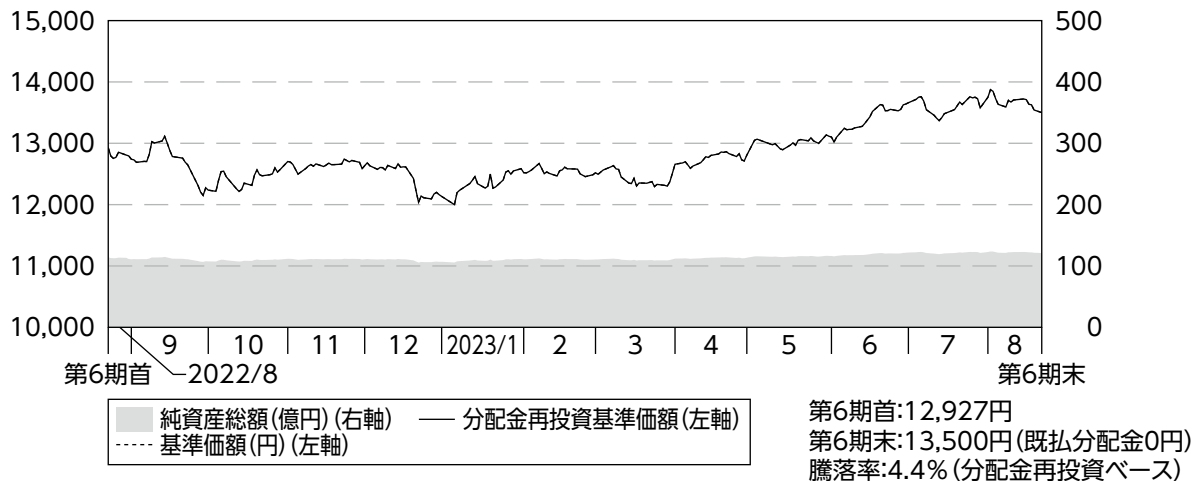
〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記ホームページにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2022年8月22日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

運用経過の説明

2 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。当期前半は一進一退の展開となりましたが、当期後半は着実にリターンを積み上げました。先進国の物価指標の鈍化を背景に世界的な利上げサイクルが終盤に近いとの見方が強まったことや、米国のハイテク企業を中心に企業業績の底堅さが好感されたことから、各国の株式および海外の債券が上昇したことがプラス寄与したほか、投資通貨が円に対して上昇したこともプラスに寄与しました。

組入ファンド	投資資産※1	基本組入比率 (変動幅)※2	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
国内株式インデックス マザーファンド	国内株式	37.5% (35.0%~40.0%)	4.0%	15.6%
外国株式インデックス マザーファンド	先進国株式		21.9%	12.3%
新興国株式インデックス マザーファンド	新興国株式		12.8%	4.7%
国内債券インデックス マザーファンド	国内債券	37.5% (35.0%~40.0%)	2.6%	△2.9%
外国債券インデックス マザーファンド	先進国債券		20.9%	3.5%
新興国債券インデックス マザーファンド	新興国債券		13.9%	17.1%
J-REITインデックス マザーファンド	国内REIT	10.0%	4.7%	△5.2%
グローバルREITインデックス マザーファンド	先進国REIT		4.8%	△6.6%
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)	金	15.0% (10.0%~20.0%)	13.3%	1.1%

※1 REITとは、不動産投資信託証券のことをいいます。本報告書では、同様の記載をすることがあります。

※2 変動幅の範囲内で、市場動向に応じて組入比率を決定します。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

運用経過の説明

3 1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2022年8月23日~2023年8月21日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	119円	0.932%	(a) 信託報酬＝[期中の平均基準価額]×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,788円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(56)	(0.439)	
(販売会社)	(56)	(0.439)	
(受託会社)	(7)	(0.055)	
(b) 売買委託手数料	1	0.007	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(0)	(0.003)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.004	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.004)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.060	(d) その他費用＝ $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(7)	(0.055)	
(監査費用)	(1)	(0.005)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	129	1.003	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

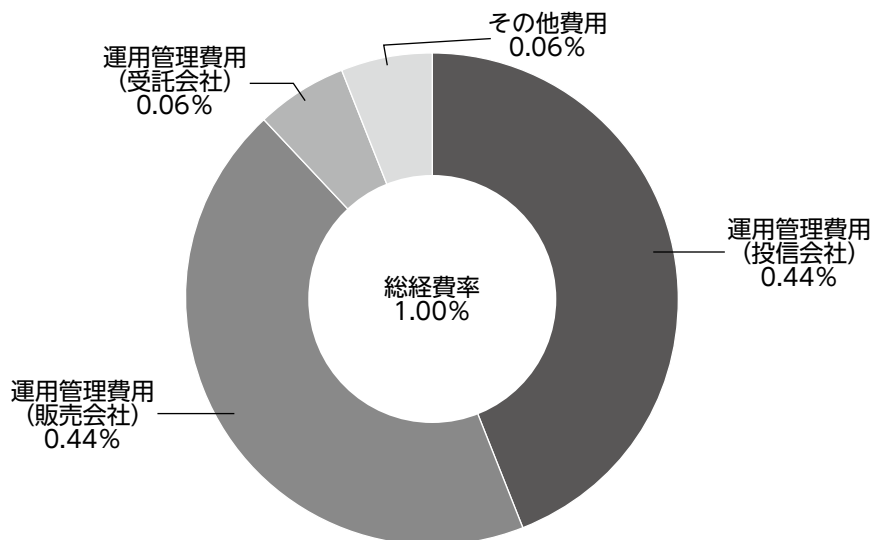
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.00%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

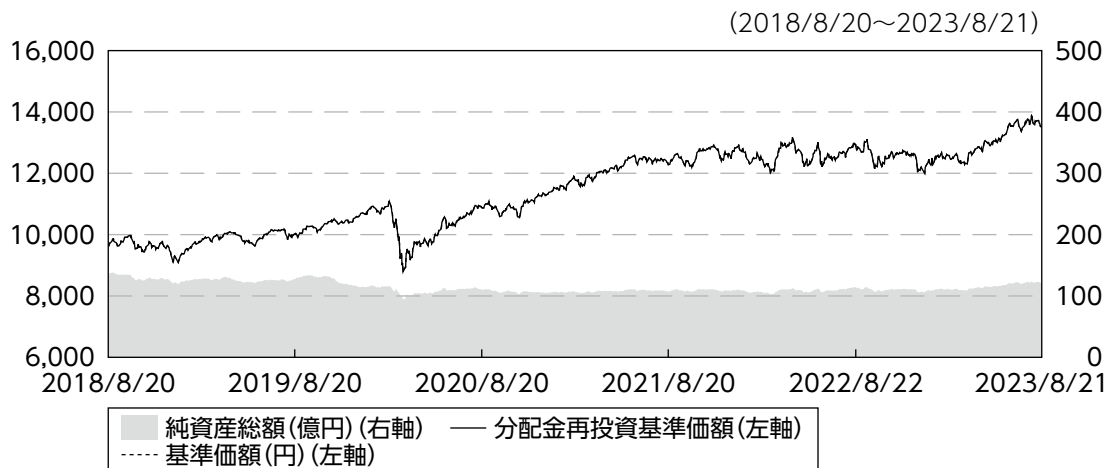
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

運用経過の説明

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもとして計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2018年8月20日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2018年8月20日 決算日	2019年8月20日 決算日	2020年8月20日 決算日	2021年8月20日 決算日	2022年8月22日 決算日	2023年8月21日 決算日
基準価額 (円)	9,632	10,021	10,880	12,281	12,927	13,500
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.0	8.6	12.9	5.3	4.4
純資産総額 (百万円)	13,643	12,745	11,044	10,716	11,407	12,110

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

5 投資環境

国内株式市場

国内株式は上昇しました。米国での物価上昇懸念の後退や中国での新型コロナウイルスに関連した行動制限の緩和などが好感され、株式市場は底堅く推移しました。期後半は、国内における賃金上昇や資本効率改善に対する期待感、日本企業の堅調な業績などを受けて大幅高となりました。

先進国株式市場

先進国株式は上昇しました。欧米の金融引き締めによる景気後退リスクや欧米金融機関に対する信用不安を警戒する局面もありましたが、先進国の物価指標の鈍化を背景に世界的な利上げサイクルが終盤に近いとの見方が強まったことや、米国のハイテク企業の好決算を受けて上昇しました。米ドルを中心に、投資対象通貨が上昇したこともプラスに寄与しました。

新興国株式市場

新興国株式は上昇しました。欧米の金融引き締め長期化による世界的な景気減速と中国の不動産セクターを中心に景気悪化が懸念され、中国を中心に株価が軟調となった一方で、台湾やインドを中心に上昇したことから、現地通貨ベースで概ね横ばいとなりました。投資対象通貨が円に対して上昇したことから、円ベースでは上昇しました。

国内債券市場

国内債券は下落しました。期前半は、日銀の長期金利の変動許容幅の引き上げにより国内債券の利回りが上昇（価格は下落）しました。その後、植田日銀新総裁がハト派的な方針を示し、大規模な金融緩和策を早期に修正するとの見方が後退したことから、利回りが安定的に推移しました。期末にかけて、日銀が長短金利操作の運用柔軟化を決定したことを受けて、市場では日銀が先行きの長期金利上昇を容認したとの見方が強まり、債券への売りが優勢となりました。

先進国債券市場

先進国債券は上昇しました。世界的なインフレへの警戒感や主要国の利上げなどにより、多くの国の国債利回りが上昇しました。しかしながら、先進国通貨が円に対して上昇したことから、先進国債券は上昇しました。

運用経過の説明

5 投資環境

新興国債券市場

新興国債券は上昇しました。欧米先進国が利上げペースを加速させたことにより欧米の利回りが上昇し、新興国の利回りも上昇傾向となった局面もありましたが、期後半に政策金利を引き下げたブラジルなどを中心に、債券利回りは低下しました。投資対象通貨も、中央銀行が政策金利を高位に維持することを表明したメキシコ・ペソなどは総じて円に対して上昇しました。

国内REIT市場

国内REITは下落しました。期前半は、日銀が長短金利操作の運用の一部見直しを発表したことや、米銀行の経営破綻や欧州金融機関の信用不安が報じられ、リスクオフの流れに影響されて下落しました。期後半は、欧米の金融不安が和らいだことや新総裁就任後も日銀の金融緩和姿勢が維持されたことなどから、日経平均株価がバブル崩壊後の高値を更新する中、株式市場と比べた国内REIT市場の出遅れ感が徐々に意識され、下げ幅を縮小しました。

先進国REIT市場

先進国REITは下落しました。期前半は、世界の主要中央銀行が大幅利上げを実施したことで景気の先行き不透明感が強まったことがマイナスに影響しました。期後半は、市場の下落を受けて割安感が強まったとの見方や、FRB（米連邦準備理事会）による利上げが早期に停止されるとの期待が追い風となりました。一方、欧米で金融システム不安が強まる中、商業用不動産向け融資で存在感の大きい米地方銀行への懸念が市場の重石になる場面もありました。

金市場

金は上昇しました。期前半に米物価の鈍化傾向が確認されたことから先行きのインフレ率の低下が見込まれたことや、期後半に米国の金融機関に対する信用不安などが米ドル安の要因となり、これを受けて金価格が上昇しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

○当ファンド

日本を含む世界の株式・公社債・REIT・金へ実質的に分散投資することにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。期初は、金の資産配分比率を低めに設定していましたが、2023年1月後半に金の資産配分比率を引き上げ、変動幅の中心程度に変更しました。

・国内株式インデックス マザーファンド

ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数)(配当込み)に連動する投資成果を目標として、現物株式については、TOPIX構成銘柄の中から信用リスクが極めて高いと判断される銘柄を除外した上で、ベンチマークの個別銘柄構成比率に合わせたポートフォリオを組成して運用を行いました。また、設定や解約による資金の流出入等に対応するため株価指数先物取引を利用し、先物を含む国内株式の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・外国株式インデックス マザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目標として、ベンチマークの個別銘柄構成比率に合わせたポートフォリオを組成して運用を行いました。また、資金の流出入等に対応するため株価指数先物取引を利用し、先物を含む外国株式の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・新興国株式インデックス マザーファンド

ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目標として、ベンチマークの個別銘柄構成比率に合わせたポートフォリオを組成して運用を行い、また、資金の流出入等に対応するため株価指数先物取引を利用し、先物を含む新興国株式の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・国内債券インデックス マザーファンド

ベンチマークであるNOMURA-BPI総合に連動する投資成果を目標として、ベンチマークに合わせてデュレーション、債券種別や残存期間を調整しました。また、資金の流出入等に対応するため債券先物取引を利用し、先物を含む国内債券の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

・外国債券インデックス マザーファンド

ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目標として、ベンチマークの通貨構成比率やデュレーション・満期構成等の諸属性を極力反映させた運用を行いました。また、資金の流入等に対応するため債券先物取引を利用し、先物を含む外国債券の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・新興国債券インデックス マザーファンド

ベンチマークであるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として、ベンチマークの通貨構成比率やデュレーション・満期構成等の諸属性を極力反映させた運用を行いました。

・J-REITインデックス マザーファンド

主としてわが国の取引所に上場しているJ-REITに投資し、ベンチマークである東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行いました。また、取引コストに留意しながらベンチマークの構成比率に合わせたポートフォリオを組成し、先物を含めたREIT組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・グローバルREITインデックス マザーファンド

ベンチマークであるS&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行いました。組み入れ等には、取引コストに留意しながらリバランスを実施し、REITを高位に組み入れ運用を行いました。ポートフォリオの構築に際しては、個別銘柄の構成比を極力ベンチマークに近づけることで連動を目指しました。

・ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)

ベンチマークであるLBMA金価格(円ヘッジベース)と連動する投資成果を目標として運用を行いました。金現物に投資するETF(上場投資信託証券)の組入比率を期を通じて高位に維持し、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行いました。

運用経過の説明

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

8 分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第6期	
	2022年8月23日~2023年8月21日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	(—)
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,499

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

○当ファンド

主として、下記のマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界の株式(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)、債券、及び不動産投資信託証券(以下「REIT」といいます。)、並びに金現物市場の代表的指数への連動を目指す上場投資信託証券(以下「金」といいます。)に実質的に分散投資します。

基本資産配分比率は株式37.5%、債券37.5%、REIT10.0%、金15.0%とします。

・国内株式インデックス マザーファンド

原則としてわが国の金融商品取引所等に上場している株式に分散投資を行い、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・外国株式インデックス マザーファンド

原則としてMSCIコクサイ・インデックスを構成している国の株式に分散投資を行い、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・新興国株式インデックス マザーファンド

主として、取引所に上場されている新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。

・国内債券インデックス マザーファンド

NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・外国債券インデックス マザーファンド

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・新興国債券インデックス マザーファンド

主として、新興国の現地通貨建て債券に投資し、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。

今後の運用方針

- ・ J-REITインデックス マザーファンド

わが国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託証券に投資し、東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

- ・ グローバルREITインデックス マザーファンド

日本を除く世界各国の不動産投資信託証券に投資し、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

- ・ ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)

主として別に定める金現物に投資する上場投資信託証券(以下「投資対象上場投資信託証券」といいます。)に投資するとともに、組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことで、別に定める金現物市場を代表する指標(円ヘッジベース)(以下「ベンチマーク」といいます。)に連動する投資成果を目指します。別に定める「投資対象上場投資信託証券」とは、次のものをいいます。

iShares Gold Trust

SPDR Gold Shares

別に定める「ベンチマーク」とは、次のものをいいます。

LBMA金価格(円ヘッジベース)

ただし、この投資信託が主要投資対象とする投資対象上場投資信託証券が参照するベンチマークが変更された場合、上記のベンチマークも変更となる場合があります。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

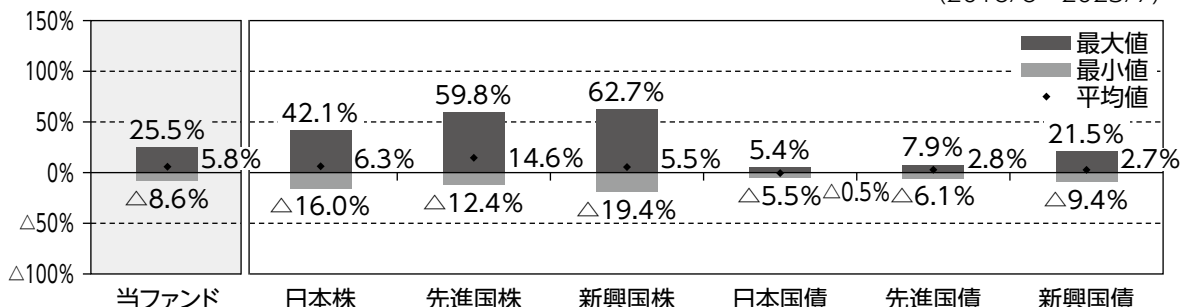
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	信託期間は2017年11月30日から2027年8月20日までです。	
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル経済コア	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	国内株式インデックス マザーファンド	わが国の取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
	外国株式インデックス マザーファンド	原則として、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)を構成している国の株式を主要投資対象とします。
	新興国株式インデックス マザーファンド	取引所に上場されている新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
	国内債券インデックス マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	外国債券インデックス マザーファンド	日本を除く世界の主要国の公社債を主要投資対象とします。
	新興国債券インデックス マザーファンド	新興国の債券を主要投資対象とします。
	J-REITインデックス マザーファンド	わが国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	グローバルREITインデックス マザーファンド	日本を除く世界各国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託証券ならびに取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)	別に定める金現物に投資する上場投資信託証券(以下「投資対象上場投資信託証券」といいます。)を主要投資対象とします。 別に定める「投資対象上場投資信託証券」とは、次のものをいいます。 iShares Gold Trust SPDR Gold Shares	

当ファンドの概要

運用方法	グローバル経済コア	主として、下記のマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界*の株式(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)、債券、及び不動産投資信託証券(以下「REIT」といいます。)、並びに金現物市場の代表的指数への連動を目指す上場投資信託証券(以下「金」といいます。)に実質的に分散投資します。 基本資産配分比率は株式37.5%、債券37.5%、REIT10.0%、金15.0%とします。 ※REITは新興国を含みません。
	国内株式インデックス マザーファンド	原則としてわが国の金融商品取引所等に上場している株式に分散投資を行い、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	外国株式インデックス マザーファンド	原則としてMSCIコクサイ・インデックスを構成している国の株式に分散投資を行い、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	新興国株式インデックス マザーファンド	主として、取引所に上場されている新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。
	国内債券インデックス マザーファンド	NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	外国債券インデックス マザーファンド	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	新興国債券インデックス マザーファンド	主として、新興国の現地通貨建て債券に投資し、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。
	J-REITインデックス マザーファンド	わが国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託証券に投資し、東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	グローバルREITインデックス マザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券に投資し、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
分配方針	ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)	主として投資対象上場投資信託証券に投資するとともに、組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことで、別に定める金現物市場を代表する指標(円ヘッジベース)(以下「ベンチマーク」といいます。)に連動する投資成果を目指します。 別に定める「ベンチマーク」とは、次のものをいいます。 LBMA金価格(円ヘッジベース) ただし、この投資信託が主要投資対象とする投資対象上場投資信託証券が参照するベンチマークが変更された場合、上記のベンチマークも変更となる場合があります。
		年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018/8~2023/7)



(注1) 当ファンドについては2018年11月~2023年7月(5年未満)、他の代表的な資産クラスについては2018年8月~2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・ TOPIX(東証株価指数)(配当込み)*1

先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)*2

新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)*3

日本国債・・・ NOMURA-BPI国債*4

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)*5

新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)*6

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数の指数値及び同指数に係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

*2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*4 NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスに計算されます。同指数の知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

*5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

*6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は、信託を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

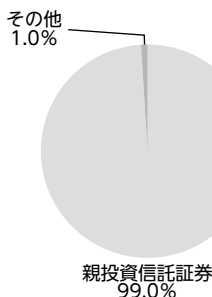
○組入ファンド

	当期末
	2023年8月21日
外国株式インデックス マザーファンド	21.9%
外国債券インデックス マザーファンド	20.9%
新興国債券インデックス マザーファンド	13.9%
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)	13.3%
新興国株式インデックス マザーファンド	12.8%
グローバルREITインデックス マザーファンド	4.8%
J-REITインデックス マザーファンド	4.7%
国内株式インデックス マザーファンド	4.0%
国内債券インデックス マザーファンド	2.6%
その他	1.0%
組入ファンド数	9

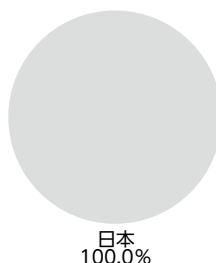
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

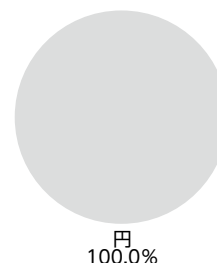
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

2 純資産等

項目	第6期末
	2023年8月21日
純資産総額	12,110,129,607円
受益権総口数	8,970,679,966口
1万口当たり基準価額	13,500円

※当期間中における追加設定元本額は1,225,075,777円、同解約元本額は1,078,889,688円です。

当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

外国株式インデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	アメリカ	5.4%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.5%
3	AMAZON.COM	アメリカ	2.1%
4	NVIDIA CORP	アメリカ	1.8%
5	S&P 500 EMIN 2306	アメリカ	1.8%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	1.4%

○1万口当たりの費用明細

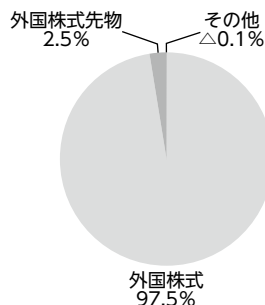
(2022年5月31日～2023年5月29日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券) (先物・オプション)	1円 (1) (0) (1)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	1 (1) (0)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	12 (12) (0)
合計	14

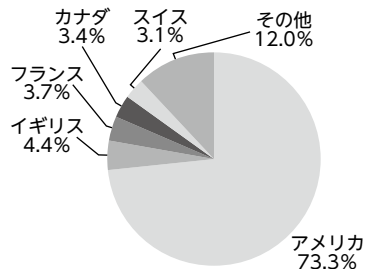
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	1.3%
8	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	1.1%
9	TESLA INC	アメリカ	1.0%
10	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	0.9%
組入銘柄数			1,276

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

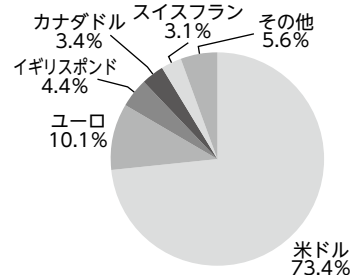
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月29日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未取・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注4) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して2.5%買建てております。

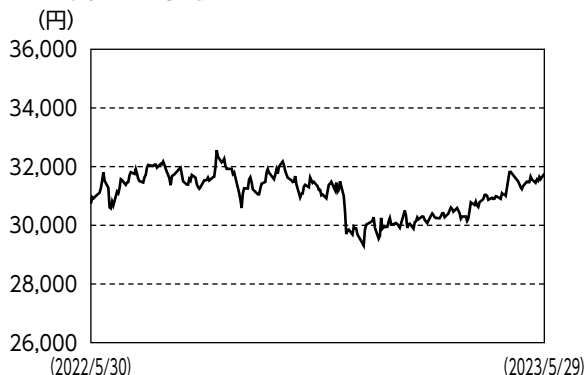
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

外国債券インデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	T 2.75% 08/15/32	アメリカ	0.7%
2	T 2.375% 05/15/27	アメリカ	0.6%
3	T 0.75% 11/15/24	アメリカ	0.5%
4	T 1.875% 02/15/32	アメリカ	0.5%
5	T 2.25% 11/15/24	アメリカ	0.5%
6	T 0.625% 08/15/30	アメリカ	0.5%

○1万口当たりの費用明細

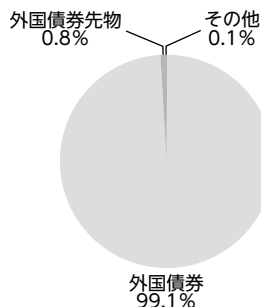
(2022年5月31日~2023年5月29日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (0)
合計	9

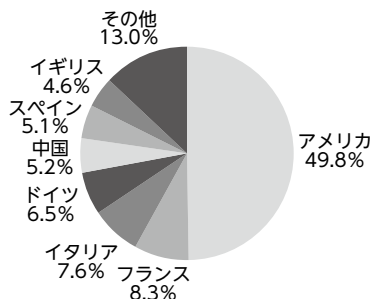
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	T 2.875% 05/15/32	アメリカ	0.5%
8	CGB 2.69% 08/12/26	中国	0.5%
9	T 1.375% 11/15/31	アメリカ	0.5%
10	T 0.875% 11/15/30	アメリカ	0.5%
組入銘柄数			858

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

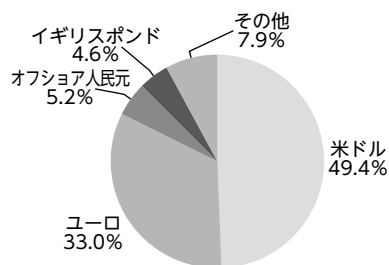
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月29日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未取・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注4) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国債券先物を想定元本ベースで純資産総額に対して0.8%買建てております。

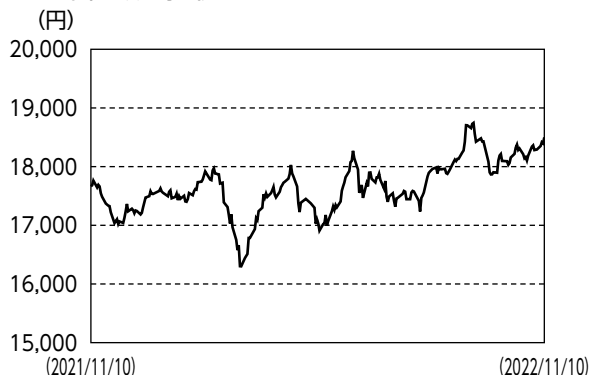
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

新興国債券インデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2021年11月11日～2022年11月10日)

項目	
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	20円 (20) (0)
合計	20

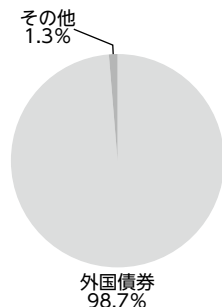
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	BLTN 0% 01/01/24	ブラジル	2.9%
2	COLOM 9.85% 06/28/27	コロンビア	2.0%
3	SAGB 10.5% 12/21/26	南アフリカ	1.9%
4	BLTN 0% 07/01/23	ブラジル	1.6%
5	SAGB 8% 01/31/30	南アフリカ	1.5%
6	MBONO 5.75% 03/05/26	メキシコ	1.3%

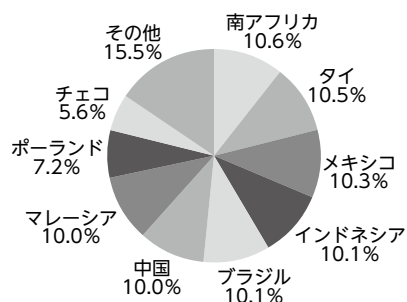
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	BNTNF 10% 01/01/27	ブラジル	1.3%
8	MBONO 7.75% 05/29/31	メキシコ	1.2%
9	SAGB 8.75% 02/28/48	南アフリカ	1.2%
10	MBONO 8% 09/05/24	メキシコ	1.1%
組入銘柄数			238

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

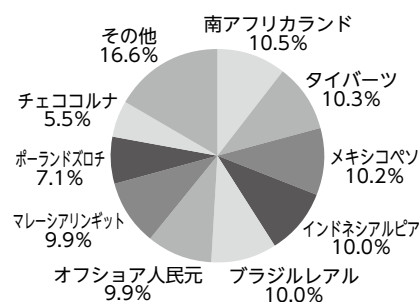
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年11月10日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

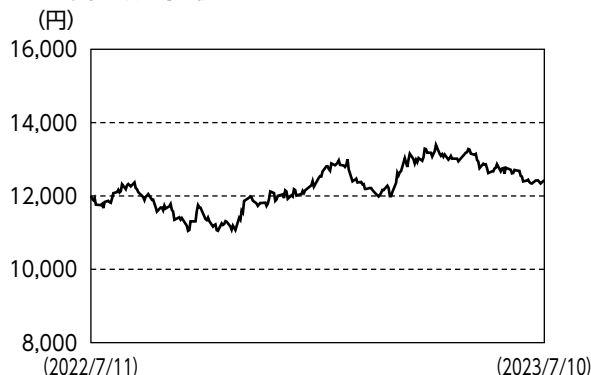
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)

○基準価額の推移



○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	ISHARES GOLD TRUST	アメリカ	98.4%
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—

○1万口当たりの費用明細

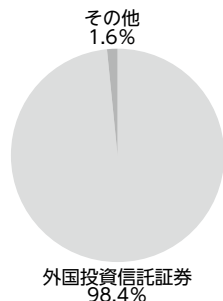
(2022年7月12日~2023年7月10日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	2円 (2)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合計	4

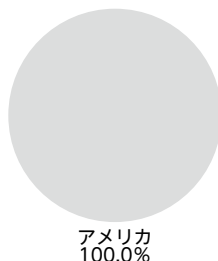
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数			1

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

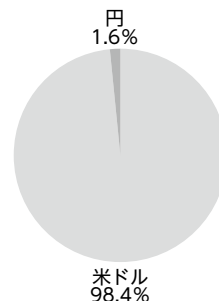
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年7月10日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未取・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

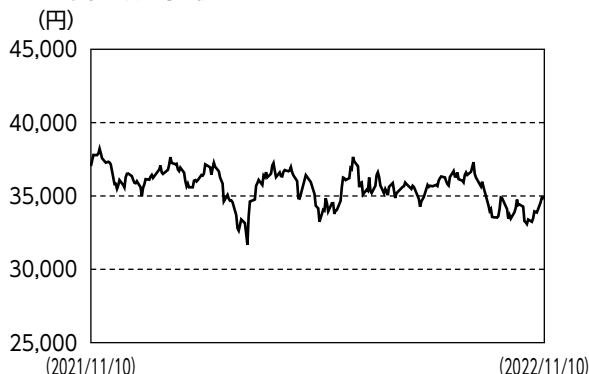
当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

新興国株式インデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	5.3%
2	MSCI EMERG M 2212	—	3.8%
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	3.5%
4	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	3.1%
5	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	ケイマン諸島	2.1%
6	RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド	1.6%

○1万口当たりの費用明細

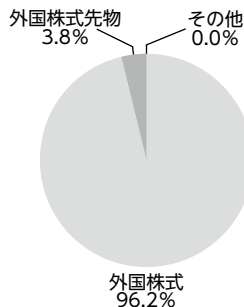
(2021年11月11日~2022年11月10日)

項目	
(a) 売買委託手数料	8円
(株式)	(6)
(新株予約権証券)	(0)
(投資信託証券)	(0)
(先物・オプション)	(2)
(b) 有価証券取引税	6
(株式)	(6)
(新株予約権証券)	(0)
(投資信託証券)	(0)
(c) その他費用	68
(保管費用)	(68)
(その他)	(0)
合計	82

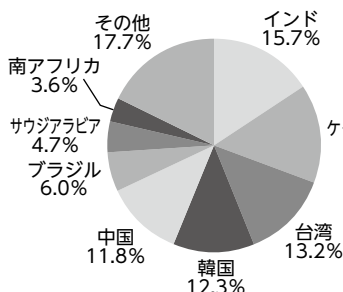
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	MEITUAN-CLASS B	ケイマン諸島	1.3%
8	INFOSYS LTD	インド	1.0%
9	ICICI BANK LTD	インド	0.9%
10	VALE SA	ブラジル	0.9%
組入銘柄数			1,252

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

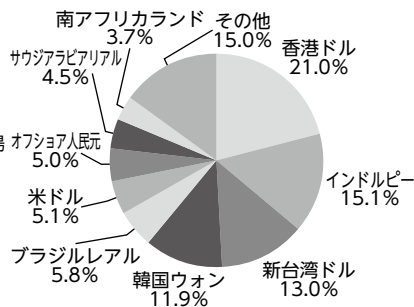
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年11月10日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未取・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注4) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して3.8%買建てております。